

町田市スポーツ推進計画
アクションプラン

(2014 年度～2018 年度)

町田市

目次

1 アクションプランの策定にあたって.....	1
2 アクションプランの展開.....	2
3 アクションプランの構成.....	6
4 アクションプランの事業内容.....	7
戦略1 市民スポーツの普及・推進	7
戦略2 トップスポーツ支援	57
戦略3 スポーツ環境の整備	77

1 アクションプランの策定にあたって

(1) アクションプラン策定の趣旨

市民が身近なところでスポーツに親しめる場から、トップアスリートが活躍する場まで、スポーツにとって「する」場所は必要不可欠なものです。また、全国大会や国際大会、スポーツイベント等が開催できる観客席などの機能を備えたスポーツ施設を整備し、「観る」スポーツを充実させることも必要です。

現在、町田市のスポーツ施設は多くの市民に利用され、利用率や利用申込の抽選倍率も高く、市民のスポーツ施設に対する利用ニーズは、高い状況にあります。一方で、多摩地域の26市の状況と比較すると、テニスコートや体育館をはじめとした主要スポーツ施設の整備数は、他市に比べても上位に位置しますが、人口当たりの整備水準では26市中10位から25位に位置しており、スポーツ施設は他市と比較して充実しているとは言えない状況にあります。

こうした市民のニーズに応え、スポーツ施設の整備を進めることで、スポーツ環境の充実を図ることが求められており、行政の役割として、地域におけるスポーツ活動の拠点となる施設や「観る」ためのスポーツ施設の整備を行うとともに、市民スポーツの推進とトップスポーツ支援に取り組んでまいります。

(2) 策定までの経過

2014年1月に「町田市スポーツ推進審議会」から「町田市スポーツ推進計画（案）」について市長答申を受け、同年2月に「町田市スポーツ推進計画」（以下、「計画」）を策定、その後庁内の関係部署の課長職で構成する「町田市スポーツ推進計画策定及び推進調整会議」の調整を経て、同年12月に「町田市スポーツ推進計画アクションプラン」（以下、「アクションプラン」）を策定しました。

(3) 概要

2014年2月に策定した計画（2014年度から2018年度）では、3つの戦略（戦略1「市民スポーツの普及・推進」、戦略2「トップスポーツ支援」、戦略3「スポーツ環境の整備」）を定めました。

アクションプランは、計画に基づくスポーツ推進施策（以下、「推進施策」）の具体的な事業について、76事業をまとめました。具体的には、各々の取り組み内容について、目標及び年度ごとの活動を定めるとともに、実効性を担保するために実施主体及び連携先を明らかにしています。今後は、このアクションプランに沿って事業を進め、年度ごとに進捗状況を確認することで、計画の確実な進捗を図ります。

2 アクションプランの展開

アクションプランは、計画で示した推進施策について、具体的な事業をスポーツ推進にかかる戦略体系に基づいて示します。

戦略1 市民スポーツの普及・推進【49事業】

施策	推進施策	番号	事業名	
1 地域におけるスポーツの推進	(1)子どものスポーツ推進	1-1	幼児期の運動遊び啓発事業	
		1-2	指定管理者による幼児スポーツ教室事業	
		1-3	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進	
		1-4	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)	
		1-5	スポーツを通じた世代間交流事業	
		1-6	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業	
		1-7	食育推進事業	
		1-8	町田市こどもマラソン大会	
	(2)働き盛り・子育て世代のスポーツ推進	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進	1-9	健康づくり推進事業
			1-10	親子栄養講習会
			1-11	健康教育講座
			1-12	健康づくり講習会
		既存施設の利用時間の延長	1-13	講師派遣事業
			1-14	既存施設の利用時間の延長等
		ファミリースポーツの推進	1-15	夜間照明施設整備事業
			1-16	指定管理者による親子スポーツ教室事業
			1-17	スポーツ施設の親子利用促進
			1-18	地域一体型ファミリースポーツ推進事業
			1-19	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業
		働き盛りの人のためのプログラムの開発	1-20	民間プログラム連携事業
			1-21	学校温水プールでの教室事業
			1-22	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業
	(3)高齢者のスポーツ推進	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成	1-23	高齢者スポーツ普及事業
			1-24	ロコモティブシンドローム対策事業
			1-25	スポーツ指導員育成事業
			1-26	[再掲]スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業
	(4)障がいのある人のスポーツ推進	【重点施策】障がい者スポーツの推進	1-27	障がい者スポーツ大会
			1-28	障がい児スポーツ教室

		1-29	障がい者スポーツ教室事業
		1-30	障害者スポーツ指導員配置事業
		1-31	[再掲]スポーツ指導員育成事業

施策	推進施策	番号	事業名
2 「市民スポーツ」の環境づくり	(1)地域スポーツの場の整備	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備	2-1 地域学校開放推進事業
			2-2 学校施設・備品改善事業
		【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備	2-3 スケートパーク整備事業
		公園・緑地等の芝生の整備	2-4 公園・緑地等の芝生整備事業
		新たなスポーツ利用の場や機会の創出	2-5 高架下スペースのスポーツ利用
			2-6 法政スポーツ教室事業
			2-7 東京家政学院大学テニスコート開放事業
			2-8 大学連携推進事業
	(2)地域スポーツの仕組みづくり	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進	2-9 地域スポーツクラブ設立・運営推進事業
		【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進	2-10 まちだニュースポーツ推進事業
			2-11 キンボールスポーツ事業
		大学との協定の締結	2-12 スポーツに関わる人材育成連携事業
		スポーツ指導員の充実	2-13 スポーツ指導員登録制度事業
			2-14 [再掲]スポーツ指導員育成事業
	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり	2-15 スポーツボランティア活性化事業	
	(3)既存スポーツ施設の有効活用	既存スポーツ施設の有効利用	2-16 屋外スポーツ施設維持管理事業
			2-17 スポーツ広場の再編成・整備事業
			2-18 利用種目の見直し

戦略2 トップスポーツ支援【19事業】

施策		推進施策	番号	事業名
3 ホームタウンチームへの支援と協働	(1)交流の活性化	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充	3-1	ホームタウン活動マッチング事業
		市内小・中学校との連携促進	3-2	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業
	(2)運営支援	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化	3-3	ホームゲーム開催周知連携事業
			3-4	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業
		試合会場・練習会場の優先確保	3-5	ホームタウンチーム施設利用支援事業
	サポーターの拡大	3-6	ホームタウンチーム相互連携事業	
	(3)広報・告知活動の充実	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進	3-7	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業

施策		推進施策	番号	事業名
4 「トップスポーツ」の環境づくり	(1)競技スポーツの場の整備	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致	4-1	2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業
			4-2	全国大会等誘致事業
			4-3	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業
		4-4	スポーツ施設の有効活用策の検討	4-4
	(2)競技スポーツの連携強化	スポーツ団体との情報の共有化	4-5	体育協会等との情報共有の強化
		ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり(再掲)	4-6	〔再掲〕スポーツボランティア活性化事業
		大学との協定の締結(再掲)	4-7	〔再掲〕スポーツに関わる人材育成連携事業
	(3)障がい者スポーツの活性化	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供	4-8	障がい者の競技スポーツ大会誘致
	(4)顕彰制度・奨励制度等の活性化	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化	4-9	トップアスリートと市民のつながり創出事業
			4-10	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業
		顕彰制度、奨励制度の充実	4-11	表敬訪問事業
			4-12	全国大会等出場者祝金支給事業

戦略3 スポーツ環境の整備【8事業】

施策		推進施策	番号	事業名
5 スポーツのまちづくり	(1)スポーツ・ツーリズムの推進	スポーツ・ツーリズムの連携促進	5-1	スポーツ・ツーリズム実施事業
	(2)公園等におけるスポーツ施設の整備	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備	5-2	第二次野津田公園整備基本計画推進事業
	(3)広域スポーツのブランド化	市民マラソン等の活性化	5-3	武相マラソン大会支援事業
	(4)公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化	ユニバーサルデザインの推進	5-4	既存スポーツ施設のバリアフリー改修
	(5)スポーツ情報発信力の強化	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化	5-5	スポーツフォーラム活性化事業
			5-6	生涯学習ポータルサイト構築事業
			5-7	生涯学習NAVI
			5-8	スポーツ情報発信・広報支援事業

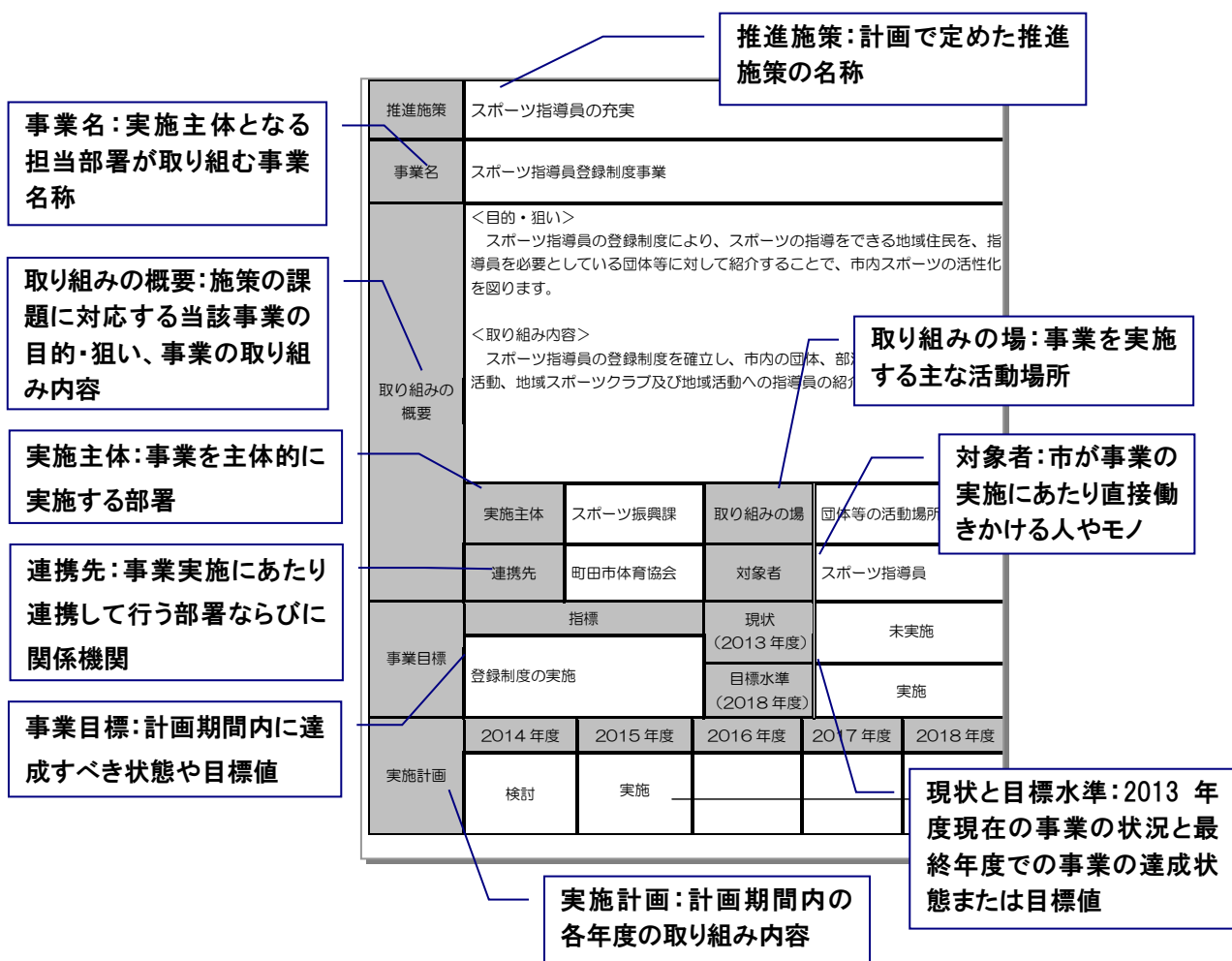
3 アクションプランの構成

計画には、「戦略1 市民スポーツの普及・推進」に19、「戦略2 トップスポーツ支援」に14、「戦略3 スポーツ環境の整備」に5つの推進施策が設定してあります。

推進施策は、町田市スポーツ推進計画で定めた施策の目標を達成するための手段であり、個々の事業の目的となります。

アクションプランには、推進施策ごとに具体的な事業内容を76の個票としてまとめてあります。

【個票の見方】



4 アクションプランの事業内容

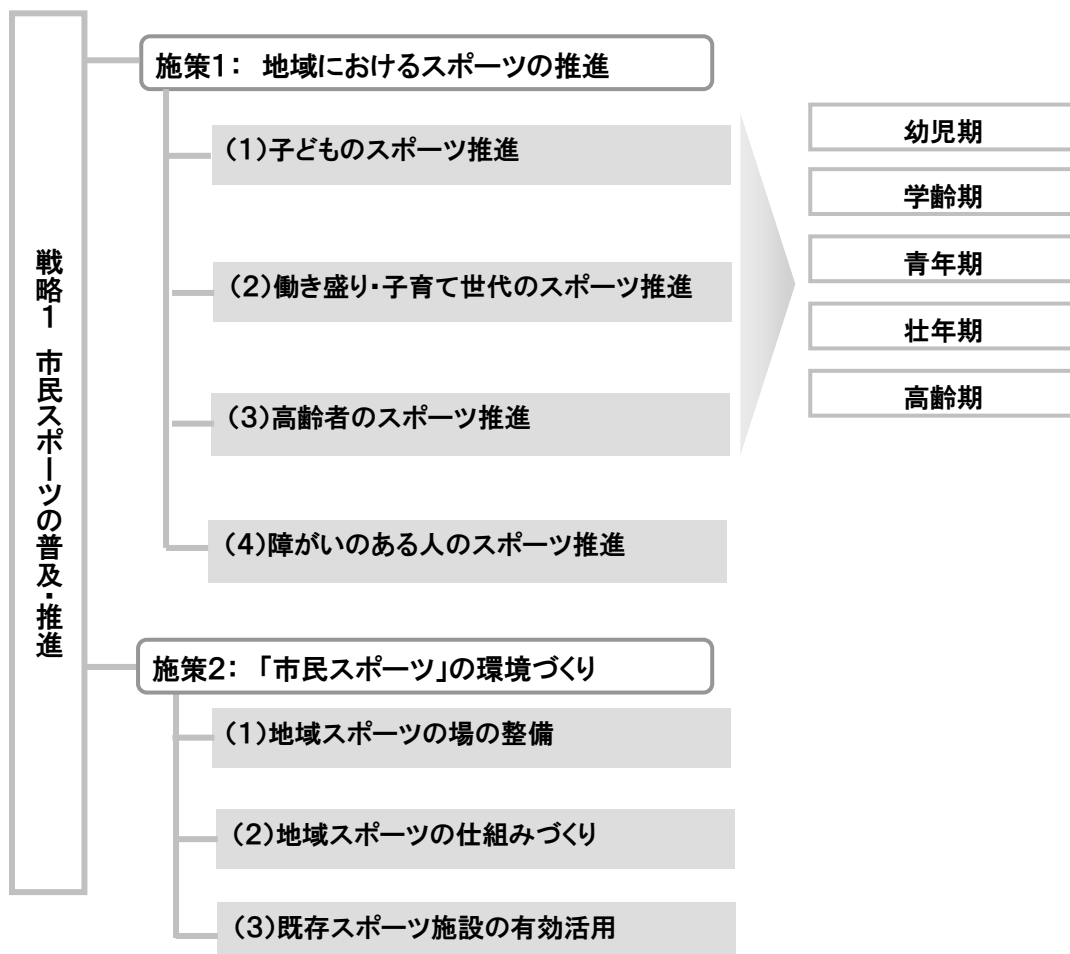
戦略1 市民スポーツの普及・推進【49事業】

少子高齢化など社会・経済情勢が大きく変化する中、学校や企業を中心としたこれまでのスポーツは岐路に立っており、新たなスポーツ推進のあり方が求められているところです。町田市では、新たなスポーツ推進のあり方とは、地域における学校、企業、家庭、スポーツ団体等関係者が連携し、スポーツ活動を地域全体に広げ、継続的な実施を定着させることと考えています。

今後は、市民一人ひとりが主体となって、スポーツ文化を地域の中で育み、だれもが気軽に、それぞれの立場に合わせてスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

「戦略1 市民スポーツの普及・推進」では、施策1として市民がスポーツや運動を行う機会を持ちスポーツ人口を拡大していくために、ライフステージ別に地域におけるスポーツを推進し、特に、スポーツ実施率が低いとされる働き盛り・子育て世代、高齢者、そして障がいのある人などを対象に、きめ細かくアプローチをしていきます。

また、施策2として市民スポーツの普及・推進に必要な地域スポーツの場の整備を進めます。具体的な事業としては、地域スポーツクラブの設立支援、地域学校開放推進事業やニュースポーツの推進等に取り組みます。



施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-1				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 平成24年に文部科学省が策定した「幼児期運動指針」では、「体を動かすことが幼稚園や保育所などでの一過性のものとならないように、家庭や地域にも情報を発信し、共に育てる姿勢をもてるようにすること。」とされている。本事業では、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施することにより、家庭での運動量の増加を目指す。</p> <p><取り組み内容> 講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 子育て支援課		取り組みの場	地域子育て相談センター 市立保育園 等
	連携先			対象者	乳幼児の保護者 市立保育園の保育士
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	啓発活動の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				

施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-2				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 幼児が安全に楽しく運動に親しむことができる教室を開催し、幼児期の積極的な身体活動を促す。</p> <p><取り組み内容> 幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館：ちびっ子体操教室（4歳児対象）、わんぱく体操教室（5～6歳児対象） ・サン町田旭体育館：ちびっ子体操教室（4歳児対象）、わんぱく体操教室（5～6歳児対象） ・室内プール：幼児スクール※自主事業 ・成瀬クリーンセンターテニスコート：キンダークラス（4～6歳児対象）※自主事業 等 				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	未就学児	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	4,670名	
	教室参加者数		目標水準 (2018年度)	5,170名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	4,770名	4,870名	4,970名	5,070名	5,170名

施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-3				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>A：スポーツに親しむ機会を提供することにより、乳幼児へは身体を動かす楽しさを体験してもらおうとともに、保護者へは身体づくりの大切さを普及していく。</p> <p>B：保育士の身体づくり・体育遊びの力量をあげることにより、乳幼児及び保護者に対する乳幼児期の身体づくりの推進につなげる。</p> <p><取り組み内容></p> <p>A：乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。</p> <p>B：市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。</p>				
	実施主体	子育て支援課	取り組みの場	地域子育て相談センター 市立保育園	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	乳幼児及び保護者 市立保育園の保育士	
	事業目標	<p>指標</p> <p>A：交流会などの回数 B：研修回数</p>		<p>現状 (2013年度)</p> <p>—</p>	<p>目標水準 (2018年度)</p> <p>A：年10回 B：年10回</p>
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	計画作成	A：年5回 B：年5回	A：年5回 B：年5回	A：年10回 B：年10回	A：年10回 B：年10回

施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-4				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児・親子向けプログラム（フィットネス、レクリエーション）				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 幼児が身近な場所で様々な身体活動を体験し、遊びをとおして身体を動かす楽しさを知ること、スポーツに親しむ機会を確保する。</p> <p><取り組み内容> 当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。 市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム（フィットネス、レクリエーション）を定期的実施する。</p>				
	実施主体	児童青少年課	取り組みの場	子どもセンター	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	幼児とその保護者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	実施	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-5				
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進				
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 小・中学生が身近な場所でスポーツを体験することができる機会を確保するとともに、高校生や地域スポーツクラブが実際の指導を行うことで、スポーツを通じて世代間の交流を図る。</p> <p><取り組み内容> 当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所にて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。 ・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。 				
	実施主体	児童青少年課		取り組みの場	子どもセンター まちとも
	連携先	高校 地域スポーツクラブ		対象者	小・中学生
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	企画	実施			→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-6				
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 学校と地域が連携した教育活動を行うため、スポーツ指導員登録制度を活用して、クラブ活動・部活動や授業の充実を図る。</p> <p><取り組み内容> スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。</p>				
	実施主体	指導課	取り組みの場	小・中学校	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	児童・生徒	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スポーツ指導員登録制度の活用		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	—	検討	実施		→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-7				
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	食育推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 子どもとその保護者に「食」の大切さについて啓発することにより、基礎的な運動能力や体力の向上を図る。</p> <p><取り組み内容> 栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		取り組みの場	ホール、会議室、調理実習室、農場
	連携先	保健企画課		対象者	子どもとその保護者
	事業目標	指標 教室・イベント等の実施数		現状 (2013年度)	—
			目標水準 (2018年度)	年3回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	年2回	→	年3回

施策1：地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-8				
推進施策	学齢期のスポーツの推進				
事業名	町田市こどもマラソン大会				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 町田市の子どもに、長距離走を通じて体を動かす楽しさを知ってもらい、健康維持や体力増進のきっかけをつくと同時に、競技スポーツを体験する機会を提供する。また、友だち同士や親子と一緒に練習したり、スポーツ振興・青少年の健全育成を目的とする団体や学校・企業、地域のみなさんが子どもたちを応援したりすることにより、交流の輪を広げ、絆を強める。</p> <p><取り組み内容> 児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。</p>				
	実施主体	町田市こどもマラソン大会実行委員会	取り組みの場	陸上競技場	
	連携先	町田市体育協会 町田市陸上競技協会 スポーツ推進委員会 青少年委員の会 教育委員会 等	対象者	市内在住・在学及び町田のスポーツチームに所属する児童	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	1,570人	
	大会参加人数		目標水準 (2018年度)	2,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-9				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 健康づくり推進員は地域における自発的な健康づくりを推進するために、町内会・自治会などから推薦をいただき、市長が委嘱している。 その健康づくり推進員に対し、ウォーキング研修を実施することで、健康づくりと連携したスポーツを地域で普及する。</p> <p><取り組み内容> 健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。</p>				
	実施主体	保健企画課	取り組みの場	健康福祉会館 等	
	連携先	健康課	対象者	健康づくり推進員	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	スポーツに関連する研修の実施回数		目標水準 (2018年度)	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回			見直し 実施	

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-10				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	親子栄養講習会				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 近年、大人だけでなく子どもにも増えている生活習慣病を家族ぐるみで予防するために、運動と食事について学ぶ機会を提供する。 運動の実技と調理体験を通し、健康づくりの大切さを理解し、家庭で実践するためのきっかけづくりの場を提供する。</p> <p><取り組み内容> 講習会を実施する。</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先		対象者	4歳から未就学児の子どもとその保護者	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回
	講習会実施回数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	見直し 実施	→	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-11				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市民が、健康に関する知識や技術を得ることにより、よりよい健康を目指し、健康活動の動機付けを得ることが出来るように情報提供及び支援を行う。</p> <p><取り組み内容> 運動に関する講演会を実施する。</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先		対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	講演会実施回数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	見直し 実施	→	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-12				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 運動や調理実習などの実践を通し、栄養・食生活の改善や運動習慣の定着化等を図り、健康的な生活習慣づくりにつなげる。</p> <p><取り組み内容> 講習会を実施する。</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先		対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年4回	
	講演会実施回数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年4回	年2回	見直し 実施		→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-13				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	講師派遣事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 自治会や老人クラブ等、地域の様々な団体においてスポーツに関する取り組みが行われている。本事業では講師を派遣することにより正しい知識の普及啓発を行うと同時に、新たなスポーツにチャレンジするきっかけをつくる。</p> <p><取り組み内容> 地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。</p>				
	実施主体	町田市体育協会	取り組みの場	各施設	
	連携先	スポーツ振興課 地域の団体 等	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	講師派遣実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			▶

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-14				
推進施策	既存施設の利用時間の延長				
事業名	既存施設の利用時間の延長等				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 利用時間の延長や利用単位の変更を行い、幅広い世代が利用しやすい環境を整備する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。 利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。) <p>【自主事業として行っている取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 室内プール：サマータイム実施（7月21日から8月31日まで8時30分開館） 成瀬クリーンセンターテニスコート：利用時間延長（5月1日から8月31日までハードコート19時まで）、早朝営業（7月1日から9月30日まで7時開館） 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 水再生センター 教育委員会 小・中学校 指定管理者 委託業者	対象者	施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2施設	
	利用時間を変更した施設数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正（必要に応じて）	施行		

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-15				
推進施策	既存施設の利用時間の延長				
事業名	夜間照明施設整備事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 日中に仕事をしている働き盛りの市民に、夜間にスポーツを「する」機会を提供する。</p> <p><取り組み内容> 小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	小・中学校 屋外スポーツ施設	
	連携先	教育委員会 小・中学校 公園緑地課 営繕課	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	7箇所	
	夜間照明設置箇所数		目標水準 (2018年度)	12箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整	検討・調整 設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-16				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 親子が安全に楽しく運動に親しむことができる教室を開催し、運動を通じた親子のコミュニケーションの機会とする。</p> <p><取り組み内容> 親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <p>総合体育館：親子体操教室、親子ふれあい体操教室、よちよち親子体操教室、てくてく親子体操教室 サン町田旭体育館：親子体操教室 等</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	未就学児と保護者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2,221名	
	教室参加者数		目標水準 (2018年度)	2,450名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,250名	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-17				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ施設の親子利用促進				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 親子が安全に楽しく運動に親しむことができる施設を提供し、運動を通じた親子のコミュニケーションの機会とする。</p> <p><取り組み内容> 親子が利用できる施設の提供と周知を行う。 【親子が利用できる施設】 総合体育館：卓球の開放時におけるファミリー用卓球台の設置 室内プール：幼児用プールを利用する際に、保護者が付き添って利用…※ 学校温水プール：児童が利用する際に、保護者が付き添って利用…※ ※安全のためのルールだが、保護者が子どもとともに運動し、また、子どもとの身体的コミュニケーションを高める機会の創出となっている。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	子どもと保護者	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	事業実施
	スポーツ施設の親子利用促進		目標水準 (2018年度)	継続	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施				
	施設PR方法 の検討				→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-18				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 親子、祖父母と孫など、多世代でスポーツに取り組むことで、家族間やスポーツをする者同士のコミュニケーションを活性化し、地域のコミュニティや絆の強化を目指す。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。 (例：体験イベント⇒定期イベント) エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント（ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで）を実施する。 				
	実施主体	地域スポーツクラブ		取り組みの場	地域スポーツクラブを中心とする各地域
	連携先	スポーツ振興課 町内会自治会連合会 スポーツ推進委員		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	企画・実施				→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-19				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 子どもからお年寄りまで楽しみながらスポーツに親しむことで、交流を深め、運動をはじめめるきっかけづくりを提供するとともに市民スポーツの裾野の拡大を図る。</p> <p><取り組み内容> ・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		取り組みの場	総合体育館 サン町田旭体育館 子どもセンター 等
	連携先	高齢者福祉課 児童青少年課		対象者	市内在住、在学の児童とその親または祖父母
事業目標	指標			現状 (2013年度)	年3回
	事業の実施回数			目標水準 (2018年度)	年6回
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回	→		年6回	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-20				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	民間プログラム連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 「スポーツを持てた機会」の調査で「持てた」割合が低下する30歳代~50歳代の仕事・子育てをしている層に対し、それぞれのライフスタイルを崩さずに手軽にスポーツに親しめる機会を提供し、スポーツ実施率の底上げを図る。</p> <p><取り組み内容> 民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度（利用助成）を検討し、実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	民間スポーツクラブ
	連携先	スポーツ振興課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→		実施	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-21				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	学校温水プールでの教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 働き盛りの人が、利用しやすい時間帯に低料金で参加できる教室を実施し、スポーツを行う機会を増やす。</p> <p><取り組み内容> 学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	学校温水プール
	連携先	小・中学校 教育委員会		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	働き盛りの人を対象とした教室の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-22				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 働き盛りの人が、利用しやすい時間帯に低料金で参加できる教室を実施し、スポーツ実施率の向上を図る。</p> <p><取り組み内容> 夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館：勤労者バドミントン教室 ・室内プール：水中エアロ（夜間） ・成瀬クリーンセンターテニスコート：一般初級～中級クラス（夜間） 等 				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先		対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2,226名	
	働き盛りの人を対象とした教室の実施		目標水準 (2018年度)	2,500名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名	2,500名

施策1：地域におけるスポーツの推進

(3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-23				
推進施策	【重点施策】 高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	高齢者スポーツ普及事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 高齢者が生きがいを持ち、介護予防的な側面から健康増進を図り、あわせて仲間をつくることで豊かな生活を営む一助とする。</p> <p><取り組み内容> 既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者に対し、用具の貸与を行う。</p>				
	実施主体	高齢者福祉課	取り組みの場	ゲートボール及びグラウンドゴルフが実施可能な一定の広さを持ち、かつ地域住民がその目的で利用することのできる市内の広場	
	連携先	町田市ゲートボール協会	対象者	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	6件
	用具貸出件数		目標水準 (2018年度)	8件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	6件	→	7件	→	8件

施策1：地域におけるスポーツの推進

(3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-24				
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 少子高齢化が進む中、健康寿命を延ばし、高齢期の生活の質を向上するための取り組みが求められている。ロコモティブシンドロームとは、骨や関節の病気、筋力の低下、バランス能力の低下によって転倒・骨折しやすくなることで、自立した生活ができなくなり介護が必要となる危険性が高い状態を指す。ロコモティブシンドロームの認知度を上げ、対策を広めることにより、より元気に高齢期を過ごしてもらうことを目指す。</p> <p><取り組み内容> ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。</p>				
	実施主体	高齢者福祉課		取り組みの場	各施設
	連携先	スポーツ振興課 市内団体		対象者	高齢者
事業目標	指標			現状 (2013年度)	468人
	講習会参加人数			目標水準 (2018年度)	500人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	460人	470人	480人	490人	500人

施策1：地域におけるスポーツの推進

(3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-25				
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>【全般】市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>【高齢者スポーツ】超高齢社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>【障がい者スポーツ】スポーツ祭東京 2013 での国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p><取り組み内容></p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	研修会場	
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員、市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-26	再掲			
推進施策	【重点施策】 高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 子どもからお年寄りまで楽しみながらスポーツに親しむことで、交流を深め、運動をはじめめるきっかけづくりを提供するとともに市民スポーツの裾野の拡大を図る。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。 				
	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	取り組みの場	総合体育館 サン町田旭体育館 こどもセンター 等	
	連携先	高齢者福祉課 児童青少年課	対象者	市内在住、在学の児童とその親または祖父母	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	年3回
事業の実施回数		目標水準 (2018年度)	年6回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回		→	年6回	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-27				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ大会				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の障がいのある方同士、障がい福祉団体同士が、スポーツを通して汗を流し、互いに交流・親睦を図る機会を提供することを目的とする。 障がい者を『支える人』として、障がい福祉やスポーツに関係する方々からこれまであまり縁のなかった方々・機関まで様々な協力者と関わり合うことで、障がいのある方への理解、共生社会の理念の普及を図る。また、ボランティアの方等が活躍できる環境づくりに繋げる。 <p><取り組み内容></p> <p>様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。</p>				
	実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課	取り組みの場	総合体育館内	
	連携先	指定管理者 スポーツ推進委員 社会福祉協議会 等	対象者	市内在住の障がいのある方、市内障がい福祉施設の利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	事業の継続		目標水準 (2018年度)	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回				

施策1：地域におけるスポーツの推進

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-28				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい児スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>障がいのある方がスポーツに親しむ機会を提供する。通常のスポーツクラブ等には、なかなか障がいのある方への知識を持った者がおらず、参加を考えたときに躊躇してしまう方が多いのが現状である。</p> <p>当教室では、障がいへの理解がある方を指導員とし、障がいのある方1人ひとりが楽しく参加でき、それぞれに合った方法で身体を動かし、力を伸ばすことができるような活動を目的とする。</p> <p>また、定期的に参加できる教室があるということで、障がいのある方の居場所づくり・社会参加の促進にもつなげる狙いがある。</p> <p><取り組み内容></p> <p>年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。</p>				
	実施主体	障がい福祉課		取り組みの場	サン町田旭体育館 すみれ会館温水プール
	連携先	指定管理者 すみれ教室 等		対象者	主に障がいのある18歳以下の方
事業目標	指標			現状 (2013年度)	年30回以上
	事業の継続			目標水準 (2018年度)	年30回以上
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年30回以上				

施策1： 地域におけるスポーツの推進

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-29				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現在、障がい福祉課所管の障がい児スポーツ教室が開催され、多くの参加者がスポーツに親しんでいるが、レクリエーションとしての要素が強く、スポーツ技術の向上等を目的としたものではない。本事業では、障がいのある方々のスポーツに対するニーズを把握しながら、より専門性の高い教室を実施することを目的とする。</p> <p><取り組み内容> 障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	スポーツ振興課 公園緑地課 障がい福祉課	対象者	競技性のあるスポーツに取り組みたい障がいのある方	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	新たな教室の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→ 実施		→	

施策1：地域におけるスポーツの推進

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-30				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 障がい者スポーツを推進するためには、障がいのある方のためのスポーツ教室開催だけでなく、一般参加者と共にスポーツ教室や開放に参加しやすい仕組みづくりが必要である。本事業ではスポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置することにより、障がいのある方にとっても利用しやすい環境づくりを進める。</p> <p><取り組み内容> 市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	スポーツ振興課 公園緑地課 障がい福祉課	対象者	障がいのある方	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スポーツ施設への障害者 スポーツ指導員の配置		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施	→	→

施策1：地域におけるスポーツの推進

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-31	再掲			
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>【全般】市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>【高齢者スポーツ】超高齢社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>【障がい者スポーツ】スポーツ祭東京 2013 での国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p><取り組み内容></p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	研修会場	
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員、市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-1				
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現在スポーツを「していない人」「したいのにできていない人」のニーズを掘り起こすため、より身近な地域でスポーツを始める、もしくははすることができる快適な環境を整備し、スポーツ実施率を高める。</p> <p><取り組み内容> 既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	小・中学校
	連携先	学校開放運営委員会 PTA（保護者と教職員の会） 既存の学校開放利用団体 教育委員会 小・中学校 営繕課		対象者	各中学校区内に在住、在勤、在学している方々
事業目標	指標			現状 (2013年度)	2箇所
	クラブハウス機能が整備された数			目標水準 (2016年度)	10箇所
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-2				
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設・備品改善事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 学校施設を地域のスポーツ活動拠点と位置づけるために、学校開放利用者がスポーツを快適に「する」環境を改善し、新たな利用を発掘することでスポーツ実施率の底上げを図る。</p> <p><取り組み内容> ・学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。 ・地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	小・中学校
	連携先	学校開放運営委員会 P T A（保護者と教職員の会） 既存の学校開放利用団体 教育委員会 小・中学校 営繕課		対象者	学校開放利用団体
事業目標	指標		現状 (2013年度)	11,000人	
	学校施設開放利用登録者数		目標水準 (2018年度)	13,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-3				
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備				
事業名	スケートパーク整備事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スケートボード、インラインスケート、BMX、ランニングバイク等のストリート系スポーツは、若者を中心とした多くの愛好家がいるが、気軽にストリート系スポーツを楽しめる場はほとんどない状況であり、市内にそうした場を設けることでストリート系スポーツを推進する。</p> <p><取り組み内容> 第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内	
	連携先	公園緑地課	対象者	ストリート系スポーツの愛好家	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スケートパーク整備のための検討		目標水準 (2018年度)	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-4				
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備				
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 公園・緑地等の芝生化は、子ども達のけがの減少や外遊びの機会の増加につながるるとともに、球技や体操などの利用方法の幅が広がり、市民の地域スポーツの場としての利用につながる。 公園・緑地等の芝生の整備により、市民が身近な場所でスポーツに親しめるようにする。</p> <p><取り組み内容> 公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。</p>				
	実施主体	公園緑地課	取り組みの場	市内公園・緑地等	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	市民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	—
	芝生の整備		目標水準 (2018年度)	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				→

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-5				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	高架下スペースのスポーツ利用				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 既存のスポーツ施設は多くの市民に利用され、新たな施設のニーズも高くなっているが、新たな用地の確保は難しい状況である。本事業は、小山沼陸橋の高架下スペースの一部をスポーツ利用することについて検討し、市民がスポーツに触れる機会を創出することを目的とする。</p> <p><取り組み内容> 小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	高架下スペース	
	連携先	企画政策課 市民協働推進課 公園緑地課 高架下管理者	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スポーツ利用のための整備		目標水準 (2018年度)	1箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			→	1箇所

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-6				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	法政スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 大学と連携することで、大学のスポーツ施設を活用する。大学のスポーツ指導資格者（教職員、学生等）によるスポーツ教室を開催することにより、市民に質の高いスポーツを「経験する」機会を提供する。</p> <p><取り組み内容> ・大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。 ・ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるように、大学と協力して方策を検討・実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	法政大学	対象者	在住・在勤・在学者及び大学近隣住民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	233人	
	延べ参加者数		目標水準 (2018年度)	250人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	240人			→	250人

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-7				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 大学と連携することで、大学のスポーツ施設を、市民にスポーツを「する」場所として提供する。</p> <p><取り組み内容> 大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	東京家政学院大学	対象者	主に相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	47%	
	年間利用率		目標水準 (2018年度)	70%	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	50%	55%	60%	65%	70%

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-8				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	大学連携推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 大学の既存スポーツ施設の有効利用を促進し、新たなスポーツ利用の場や機会を早期に創出する。</p> <p><取り組み内容> 既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	市内各大学	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2大学	
	市と連携協力している大学数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	協定締結 実施	→	→

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-9				
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進				
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 身近な地域にある既存の学校施設を有効活用することで、国が掲げる「1中学校区あたりに1箇所の地域スポーツクラブ設立」を目指し、市民にとって「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」気軽にスポーツに親しめる環境を整備する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。 クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	小・中学校
	連携先	学校開放運営委員会 既存の学校開放利用団体 町内会自治会連合会 スポーツ推進委員		対象者	各中学校区に在住、在勤、在学している方々
事業目標	指標			現状 (2013年度)	4団体
	地域スポーツクラブ整備数			目標水準 (2018年度)	20団体
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-10				
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	まちだニュースポーツ推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 近年、気軽に楽しむことができるニュースポーツが数多く開発され、市内でも様々な場面で実施されている。 本事業では、ニュースポーツについて研究し、市として種目を選定し推進することにより、市内でニュースポーツを広め、スポーツ実施率の上昇を図る。</p> <p><取り組み内容> ・ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。 ・推進する種目の選定及び事業の実施を行う。</p>				
	実施主体	スポーツ推進委員		取り組みの場	スポーツ施設
	連携先	スポーツ振興課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・検討	→		実施	→

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-11				
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	キンボールスポーツ事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 直径 122cm、重さ約 1kg のビッグなボールを使い、「共に遊べる」、「誰もが主役になれる」、「年齢、経験、体力等に応じてゲームを楽しめる」でお互いのチームワーク・協調性が身につけられる。</p> <p><取り組み内容> 年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ 8 回、また教室のフォローアップとして 10 回、1 時間ずつ、水曜日に実施している。 また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、またPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約 10 校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。</p>				
	実施主体	ひなた村	取り組みの場	ひなた村・小学校	
	連携先	小学校 町田市青少年委員 の会	対象者	小・中学生、高校生及び大人	
事業目標	指標		現状 (2013 年度)	10 校	
	プログラムサービス事業実施校		目標水準 (2018 年度)	15 校	
実施計画	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	11 校	12 校	13 校	14 校	15 校

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-12				
推進施策	大学との協定の締結				
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ行政に対する大学生の知見を広めることで、次代のスポーツ行政を担う人材を育成する。 ・市の主催イベント等に大学生を積極的に活用することで、町田市全体としての活気を創出する。 <p><取り組み内容></p> <p>大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内大学 市内外各種スポーツイベント 地域スポーツクラブ	
	連携先	市内大学 地域スポーツクラブ 広報課	対象者	大学生	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	市の事業と連携する大学数		目標水準 (2018年度)	3大学	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計・調整	→	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-13				
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	スポーツ指導員登録制度事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツ指導員の登録制度により、一定レベルのスポーツ指導ができる地域住民を、指導員を必要としている団体等に対して紹介することで、市内スポーツの活性化を図る。</p> <p><取り組み内容> スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。</p>				
	実施主体	町田市体育協会	取り組みの場	団体等の活動場所	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	スポーツ指導員	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	登録制度の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-14					再掲
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	スポーツ指導員育成事業					
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>【全般】市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>【高齢者スポーツ】超高齢社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>【障がい者スポーツ】スポーツ祭東京 2013 での国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p><取り組み内容></p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>					
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	研修会場		
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員、市民		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—		
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	実施			→	

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-15				
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツを「支える」という概念をより広く周知し、スポーツと密接に関わる市民の数を増加させる。</p> <p><取り組み内容> スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内外各種スポーツイベント
	連携先	町内会自治会連合会 市内大学 市内高等学校 小・中学校 ホームタウンチーム 教育委員会 市民協働推進課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	「まちだサポーターズ」 年間延べ活動人数			目標水準 (2018年度)	1,200人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(3) 既存スポーツ施設の有効活用

No	2-16				
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現在、維持管理に関する計画がないテニスコート等の屋外スポーツ施設について、計画的に整備・修繕することで、長期的に安心・安全に利用できるようにする。</p> <p><取り組み内容> ・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。 ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	屋外スポーツ施設	
	連携先		対象者	スポーツ施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	計画に基づく 施設整備・修繕の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	維持管理 計画策定	施設維持 ・修繕	→

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(3) 既存スポーツ施設の有効活用

No	2-17				
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現在、市内には市有地・民有地をあわせて28箇所のスポーツ広場がある。今後のスポーツ広場の施設整備及び管理運営方針を決定し、誰もが利用することができる「公のスポーツ施設」への転換を図る。</p> <p><取り組み内容> ・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。 ・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。 ・民間活力による（PFⅠ等）手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。 ・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ広場	
	連携先		対象者	スポーツ広場利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(3) 既存スポーツ施設の有効活用

No	2-18				
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	利用種目の見直し				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市のスポーツ施設を専用利用する場合、施設案内予約システムを使って予約を行う。各施設にはそれぞれ利用可能種目が設定されており、利用可能種目にならない種目では利用することができない。近年、設定されている利用可能種目以外の種目で利用したいという要望が多数寄せられており、対応を検討する必要がある。</p> <p><取り組み内容> 寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 市民協働推進課 市民総務課 指定管理者	対象者	スポーツ施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	利用種目の見直しの実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			→	実施

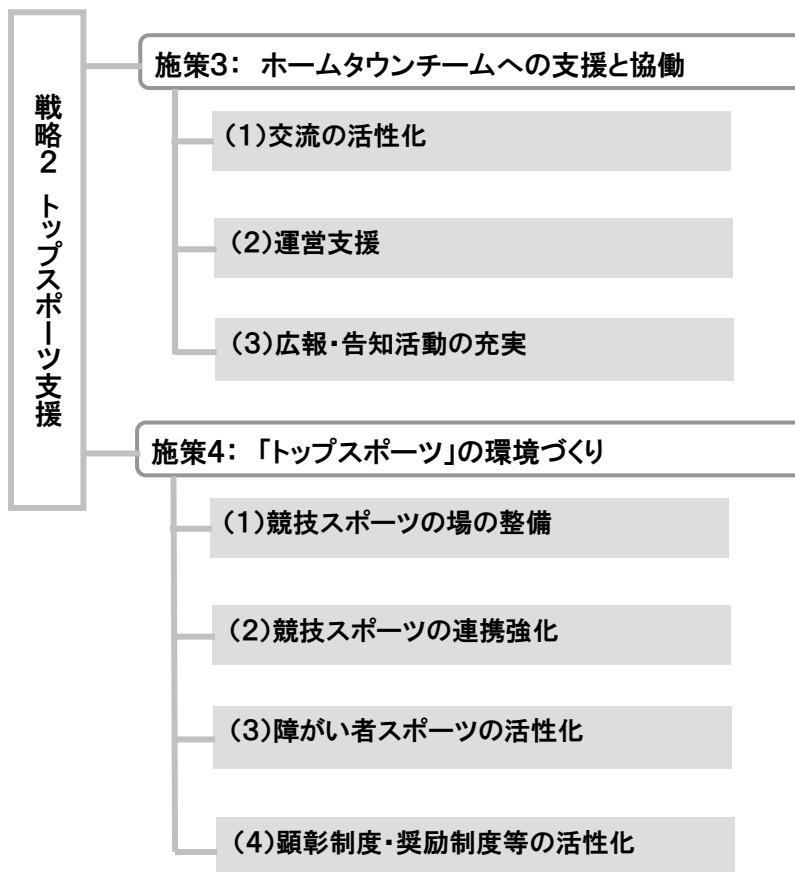
戦略2 トップスポーツ支援【19事業】

町田市は、サッカーの「FC町田ゼルビア」、フットサルの「ASVペスカドーラ町田」、ラグビーの「キャノンイーグルス」の3つのホームタウンチームが活躍しているほか、多くのトップアスリートを輩出しています。

また、2020年には東京でのオリンピック・パラリンピックの開催が決定し、町田市においてもスポーツへの関心や興味が高まっており、キャンプ地招致に向けた気運も高まっています。

町田市では、こうしたトップスポーツの活躍により、賑わいのあるまちを目指すとともに、トップスポーツに市民が触れ合うことで、感動やあこがれが生まれ、また、スポーツをはじめめるきっかけや動機づけになるものと考えています。

「戦略2 トップスポーツ支援」では、トップスポーツを活性化し、競技スポーツを観る人のスポーツ人口の拡大をはじめ、まちの魅力向上や活性化のために、ホームタウンチームの支援と協働を推進します。また、トップスポーツの環境づくりとして、トップスポーツの場の整備やアスリートと市民の一層の交流の促進を図ります。具体的な事業としては、ホームタウンチームと連携した社会貢献活動やイベントへの参加拡充、スポーツを通じたシティセールスの推進、オリンピックキャンプ地招致などに取り組みます。



施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

No	3-1				
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充				
事業名	ホームタウン活動マッチング事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームに期待される役割のひとつとして、地域や市民に町田市のシンボルとして認知され、地域内の一体感を醸成する際のシンボルとなることが挙げられる。そのためには、ホームタウンチームが地域や市民の日常活動とより多くの接点を持ち、より身近な存在として浸透していく必要がある。このため、地域祭事や地域貢献活動、市主催事業等とホームタウンチームの活動をマッチングし、幅広い分野で地域や市民との接点を増やす。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。 ・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。 ・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	地域祭事 地域貢献活動 市主催事業 等
	連携先	ホームタウンチーム 市役所関連部署 地域団体		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	70回
	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等への ホームタウンチームの参加回数			目標水準 (2018年度)	140回
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	80回	90回	100回	120回	140回

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

No	3-2				
推進施策	市内小・中学校との連携促進				
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームに期待される役割のひとつとして、通常手の届かない存在であるトップスポーツを「地元のチーム」として市民がより身近に感じるとともに、その強みを生かして「する」機会を創出することが挙げられる。トップスポーツ選手と一緒にスポーツを体験できる機会を創出することで、普段スポーツと接点のない市民にも広くスポーツを普及する。また、既存の競技団体と交流を図り、競技力向上に努める。</p> <p><取り組み内容> ・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。 ・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等	
	連携先	ホームタウンチーム 市役所関連部署 保育園・幼稚園 小・中学校、高校 地域団体等	対象者	児童・生徒 地域団体等	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	54回	
	ホームタウンチームによる 出前スポーツ教室等の延べ実施回数		目標水準 (2018年度)	150回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	60回	80回	100回	120回	150回

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-3				
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームのホームゲームについて、広く周知活動を行うことで、ホームゲーム等を観戦する方を増やし、スポーツと関わりを持つ機会を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。 ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内
	連携先	市役所関連部署 指定管理者 ホームタウンチーム 地域団体・関連団体 等		対象者	市民、ファン、サポーター
事業目標	指標			現状 (2013年度)	69,503人
	ホームタウンチームのホームゲームの年間観戦者数			目標水準 (2018年度)	17万人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	8万人	10万人	12万人	14万人	17万人

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-4				
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームのホームゲームについて、観戦・参加環境を充実させる取り組みを支援することで、より多くの方にスポーツと関わる機会を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。 ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	ホームゲーム等
	連携先	市役所関連部署 指定管理者 ホームタウンチーム 公共交通関連企業 等		対象者	市民、ファン、サポーター
事業目標	指標			現状 (2013年度)	1,740人
	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数			目標水準 (2018年度)	2,500人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,100人	2,200人	2,300人	2,400人	2,500人

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-5				
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保				
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームがホームゲームや練習等でスポーツ施設を利用する際に、自前の練習施設を保有する一部のホームタウンチームを除き、その利用枠確保や利用環境に様々な課題を残している。こうした課題について、一般利用とのバランスに配慮しながらその負担を軽減し、ホームタウンチームの経営・練習環境の向上を図る。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用枠を拡大し、ホームタウンチームの利用枠も拡大する。 ・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。 ・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 指定管理者 民間企業 等	対象者	ホームタウンチーム	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→ 実施			→

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-6				
推進施策	サポーターの拡大				
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 町田市には、異なる競技種目で活躍する3つのホームタウンチームが存在する。そこで、それぞれの強みを生かした連携を一層強めることで、より広い市民層へ認知を広げ、相乗効果によるサポーターの拡大に繋げる。</p> <p><取り組み内容> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会（仮称）」を開催し、相互に連携できる環境を整える。 ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。 </p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内
	連携先	市役所関連部署 指定管理者 ホームタウンチーム 地域団体・関連団体 等		対象者	市民、ファン、サポーター
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	3つのホームタウンチーム合同による 連携活動の取り組み数			目標水準 (2018年度)	3回
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	連絡会の開催	1回	2回	3回	3回

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(3) 広報・告知活動の充実

No	3-7				
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進				
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームに期待される役割のひとつとして、観戦に訪れるアウェーサポーターに対して町田市の魅力を発信していくことが挙げられる。ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、「ホーム」の雰囲気醸成し、様々な形でホスピタリティを向上させることで、より多くの方々に町田市の魅力を発信する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。 ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	ホームスタジアム及びその周辺、交通経路
	連携先	ホームタウンチーム 市役所関連部署 町田市観光コンベンション協会 地域団体 民間企業 等		対象者	アウェーサポーターを中心とした市内外の方
事業目標	指標			現状 (2013年度)	JFL 全試合実施
	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動			目標水準 (2018年度)	他リーグへ拡充 コンテンツ充実
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業内容設計	実施			→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-1				
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「観る」「支える」環境を向上させる。 ・「おもてなし」の心で外国から来訪する選手やスタッフを迎えることで、市民のボランティア意識を高める。 ・合宿を通じて、町田市を全国、世界に対してアピールし、来街者を増加させる。 <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加国や関係各所への招致活動を行う。 ・選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。 ・市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会 関連事業推進本部	取り組みの場	市内全域	
	連携先	東京都 公園緑地課 産業観光課 広報課	対象者	市民 日本ラグビーフット ボール協会 JOC	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致 ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致		目標水準 (2018年度)	招致	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	招致活動				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-2				
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	全国大会等誘致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「観る」「支える」環境を向上させる。 ・オリンピックキャンプ地招致に向けて機運の醸成を図る。 ・観客席を持つスポーツ施設の有効活用を図る。 <p><取り組み内容></p> <p>各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン日本リーグ ・NBL（ナショナルバスケットボールリーグ（日本）） ・bjリーグ（日本プロバスケットボールリーグ） ・全国高校サッカー選手権大会 等 				
	実施主体	スポーツ振興課 企画政策課	取り組みの場	総合体育館 陸上競技場	
	連携先	公園緑地課 町田市体育協会 指定管理者	対象者	日本バドミントン協会 日本バスケットボール協会 (株)日本プロバスケットボールリーグ 日本サッカー協会 等	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	大会開催		目標水準 (2018年度)	大会開催	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	誘致活動 大会開催				→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-3				
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「みる」「支える」環境を向上させる。 ・オリンピックキャンプ地招致に向けて機運の醸成を図る。 ・観客席を持つスポーツ施設の有効活用を図る。 ・ホームタウンチームであるキャノンイーグルスを市民により身近に感じてもらう。 <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		取り組みの場	陸上競技場
	連携先	公園緑地課 町田市体育協会 指定管理者		対象者	日本ラグビーフットボール協会
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	大会開催			目標水準 (2018年度)	大会開催
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	誘致活動 大会開催				→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-4				
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討				
事業名	競技スポーツの場の整備				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 競技スポーツの大会が開催できるように施設整備を行う。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館の得点表示板の更新を行う。 ・総合体育館に大型バス乗降場を整備する。 ・室内プール（50mプール）のコースロープを一新し、公認を受ける。 ・室内プールの電光表示システムを更新する。 ・総合体育館に大型映像装置を整備する。 ・陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	スポーツ施設
	連携先	公園緑地課 営繕課		対象者	スポーツ施設利用者
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	競技スポーツの場の整備			目標水準 (2018年度)	整備
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	総合体育館得点表示板更新 室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	総合体育館大型バス乗降場整備の検討	総合体育館大型バス乗降場整備設計、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置検討、陸上競技場観客席増設検討、室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備工事 総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置設計 陸上競技場観客席増設設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事 総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置工事 陸上競技場観客席増設工事

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(2) 競技スポーツの連携強化

No	4-5				
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化				
事業名	体育協会等との情報共有の強化				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 体育協会及び各競技団体との情報共有を図り、施設の管理運営や、市民大会開催に活かす。</p> <p><取り組み内容> ・各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 ・体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	スポーツ施設
	連携先	町田市体育協会 公園緑地課 指定管理者		対象者	体育協会 (各競技団体)
事業目標	指標			現状 (2013年度)	実施
	体育協会との業務連携			目標水準 (2018年度)	強化
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	優先受付取扱基準の見直しの検討 各団体からの要望への対応検討・実施	施設利用優先受付業務の実施・改善			→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(2) 競技スポーツの連携強化

再掲

No	4-6				
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり [再掲]				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツを「支える」という概念をより広く周知し、スポーツと密接に関わる市民の数を増加させる。</p> <p><取り組み内容> スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内外各種スポーツイベント
	連携先	町内会自治会連合会 市内大学 市内高等学校 小・中学校 ホームタウンチーム 教育委員会 市民協働推進課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	「まちだサポーターズ」 年間延べ活動人数			目標水準 (2018年度)	1,200人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(2) 競技スポーツの連携強化

No	4-7	再掲			
推進施策	大学との協定の締結 [再掲]				
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ行政に対する大学生の知見を広めることで、次代のスポーツ行政を担う人材を育成する。 ・市の主催イベント等に大学生を積極的に活用することで、町田市全体としての活気を創出する。 <p><取り組み内容></p> <p>大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内大学 市内外各種スポーツイベント 地域スポーツクラブ	
	連携先	市内大学 地域スポーツクラブ 広報課	対象者	大学生	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	市の事業と連携する大学数		目標水準 (2018年度)	3大学	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計・調整	→	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(3) 障がい者スポーツの活性化

No	4-8				
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供				
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 障がい者スポーツ普及啓発のためには、まず、一般的に触れる機会の少ない障がい者スポーツを体験してもらい、理解のきっかけを作ることが必要である。障がい者アスリートが市内で競技スポーツに取り組みやすい環境をつくる。</p> <p><取り組み内容> 障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	障がい福祉課 体育協会 指定管理者	対象者	障がい者競技スポーツ団体 市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	1大会	
	障がい者の競技スポーツ 大会開催数		目標水準 (2018年度)	2大会	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2大会				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-9				
推進施策	【重点施策】 トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリートと市民との、直接・間接の交流機会を増やすことで、トップアスリートたちをさらに広く周知・支援し、青少年を中心とする層にスポーツが持つ夢や希望をより多く実感してもらう。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。 ・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。 ・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的活用や新聞、テレビなどのマス媒体への積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。 				
	実施主体	スポーツ振興課 Sports まちだホームタウン協議会	取り組みの場	市内各種スポーツイベント	
	連携先	指定管理者 産業観光課 広報課	対象者	トップアスリート 市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	トップアスリートとの交流機会の回数		目標水準 (2018年度)	年3回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	年2回	→	年3回

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-10				
推進施策	【重点施策】 トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 指定管理者の自主事業（イベント）は、スポーツ施設運営において、多くの参加者を集める重要な事業となっている。この機会を利用し、トップアスリートがイベントに関わることで、市民との交流の機会を創出することを目的とする。</p> <p><取り組み内容> 競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。</p>				
	実施主体	指定管理者 町田市体育協会	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	スポーツ振興課 競技団体 ホームタウンチーム	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	イベントの実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	イベント実施				→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-11				
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	表敬訪問事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツの全国大会、国際大会に出場予定、または出場した市民の市長表敬訪問の受け入れを行い、激励・顕彰することで、スポーツをする市民の意欲を高めるとともに、そのスポーツを広く市民に普及する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。 ・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。 ・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市役所	
	連携先		対象者	スポーツの全国大会・国際大会に出場予定または出場した個人または団体	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	25回	
	表敬訪問実施数		目標水準 (2018年度)	35回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	25回	→	30回	→	35回

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-12				
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツの全国大会、国際大会に出場した市民に対し祝金を支給することで、スポーツをする市民の意欲を高めるとともに、その活動への支援を行う。</p> <p><取り組み内容> ・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。 ・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。 ・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場		
	連携先		対象者	スポーツの全国大会・国際大会に出場した個人または団体	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	85件	
	祝金支給件数		目標水準 (2018年度)	150件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	85件	120件	130件	140件	150件

戦略3 スポーツ環境の整備【8事業】

市内には現在、陸上競技場、総合体育館、小野路球場など 26 のスポーツ施設が整備されています。2013 年度にはスポーツ施設全体で、年間延べ 150 万人以上の方に利用されており、利用率も、総合体育館やサン町田旭体育館では 9 割以上、テニスコートでは 8 割程度と高い水準となっています。また、総合体育館やサン町田旭体育館では利用抽選申込の倍率が 3 倍を超えるなど、利用者のニーズも高くなっています。

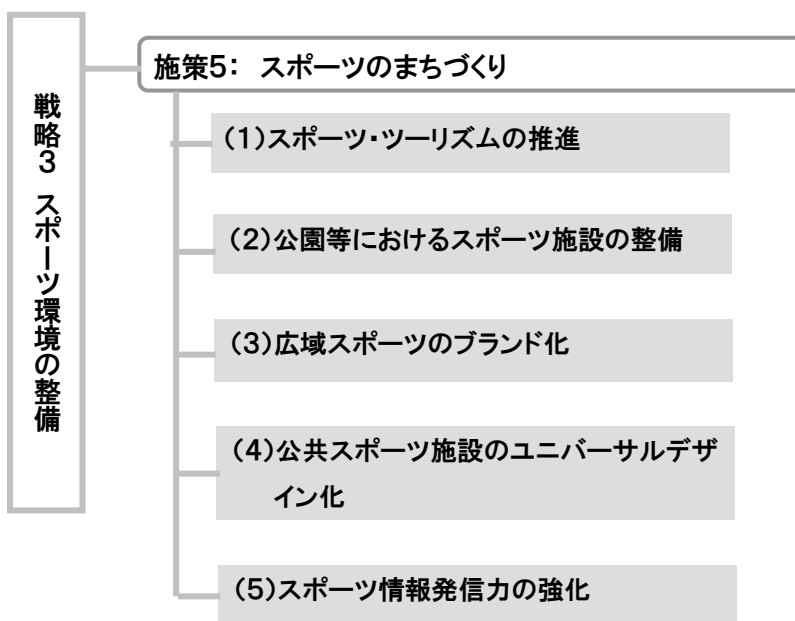
しかし、スポーツ施設の充足率は、近隣の自治体と比較しても充実しているとはいええない状況です。例えば、多摩地域の 26 市の状況を見てみると、主要スポーツ施設の整備数だけを見れば、他市に比べても上位に位置しますが、人口当たりの整備水準では 26 市中 10 位から 25 位に位置しており、決して充実しているとは言えません。特に整備水準が低い施設としては、テニスコート、野球場、体育館、球技場などが挙げられます。

今後、利用者ニーズとスポーツ施設の充実度合いを総合的に勘案し、ニーズが高く、かつ比較的不足しているテニスコート、体育館、野球やサッカーなど多目的に利用できるグラウンドの整備を優先的に進めます。

一方、陸上競技場、総合体育館、小野路球場など一部のスポーツ施設については、大規模大会等の開催など「観る」スポーツの場としての機能も求められています。

このため、大型ビジョンなど「観る」環境の整備もあわせて進めます。

「戦略3 スポーツ環境の整備」では、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツをしたり、みたり、親しむことのできる環境」を創出するとともに、スポーツを通じたまちの活性化・交流の拡大を図ります。



施策5：スポーツのまちづくり

(1) スポーツ・ツーリズムの推進

No	5-1				
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進				
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>【魅力あるスポーツ資源の活用】</p> <p>市内への来訪者を獲得するためには、魅力ある見所、イベントなどのコンテンツがますます重要になっており、スポーツ資源もその一つとなっている。このような状況をふまえ、本事業はスポーツ観戦など含めたツアーを実施または支援することを目的とする。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチーム応援ツアーの企画 ・旅行代理店へのPR 				
	実施主体	一般社団法人町田市観光 コンベンション協会 産業観光課	取り組みの場	市外スタジアム 市外旅行代理店	
	連携先	ホームタウンチーム 旅行代理店など	対象者	スポーツ観戦者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	ツアー実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・実施				▶

施策5：スポーツのまちづくり

(2) 公園等におけるスポーツ施設の整備

No	5-2				
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備				
事業名	第二次野津田公園整備基本計画推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 野津田公園は、陸上競技場、テニスコート、野球場、多目的グラウンドがあり、町田市でのスポーツ活動における重要な場所である。第二次野津田公園整備基本計画の中で、「する」「観る」「支える」スポーツの場のさらなる充実を図る。</p> <p><取り組み内容> 第二次野津田公園整備基本計画に基づき、スポーツ施設の整備を進める。当面は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。</p>				
	実施主体	公園緑地課	取り組みの場	野津田公園	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	スポーツ施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	野津田公園内における スポーツ施設整備箇所数		目標水準 (2018年度)	2箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	用地測量	都市計画決定 用地買収	基本設計 実施設計	整備	→

施策5：スポーツのまちづくり

(3) 広域スポーツのブランド化

No	5-3				
推進施策	市民マラソン等の活性化				
事業名	武相マラソン大会支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 全国のアスリートが参加する武相マラソン大会を町田ブランドと位置づけ支援することで、市の知名度向上ならびに参加者の拡大を図る。</p> <p><取り組み内容> 広報、ホームページ、その他メディア等を通じて、武相マラソン大会に関する情報発信・PRを強化する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	メディア	
	連携先	町田タイムズ社 町田市陸上競技協会	対象者	全国のアスリート	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	2,000人
	参加者数		目標水準 (2018年度)	3,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,500人	→	2,750人	→	3,000人

施策5：スポーツのまちづくり

(4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

No	5-4				
推進施策	ユニバーサルデザインの推進				
事業名	既存スポーツ施設のバリアフリー改修				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 各スポーツ施設は、建設後 20 年以上経過し、建設当時の建物・設備の規格等が現在の考え方にそぐわないものになってきているため、町田市福祉のまちづくり総合推進条例にもとづいたバリアフリー改修を計画的に実施する。 また、障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設環境の整備を行う。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 ・サイン改修工事 ・障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設整備 ・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	指定管理者 営繕課 公園緑地課 施設課	対象者	スポーツ施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013 年度)	—	
	改修工事実施施設数		目標水準 (2018 年度)	3施設	
実施計画	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	改修計画の検討 営繕課との調整	学校温水プール、木曽中管理事務所のサイン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事实施 小規模バリアフリー改修		→

施策5：スポーツのまちづくり

(5) スポーツ情報発信力の強化

No	5-5				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	スポーツフォーラム活性化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 町田市スポーツ推進計画をもとに市が推進する施策・事業について、さまざまなテーマで市民参加型のフォーラムを開催することで、市民の町田市スポーツ施策に対する関心、理解を高め、より積極的にスポーツに関わることが出来る環境を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催 ・フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	各施設
	連携先	町田市体育協会 ホームタウンチーム		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	スポーツフォーラムの見直し			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	見直し 実施	→	→

施策5：スポーツのまちづくり

(5) スポーツ情報発信力の強化

No	5-6				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 教養、文化・芸術、スポーツ、レクリエーションなどの生涯学習情報を、市民がいつでも手軽に手に入れられる環境を整備する。</p> <p><取り組み内容> 講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ（生涯学習ポータルサイト）を構築する。</p>				
	実施主体	生涯学習センター		取り組みの場	インターネット
	連携先	市役所関連部署 市民団体 大学 等		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	生涯学習ポータルサイトの構築			目標水準 (2018年度)	構築・稼動 (2015年度)
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	運用ルール の検討	ポータルサイ トの構築・稼動	運用	検証	運用改善 実施

施策5：スポーツのまちづくり

(5) スポーツ情報発信力の強化

No	5-7				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	生涯学習NAV I				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市民が教養、文化・芸術、スポーツ、レクリエーションなどの生涯学習に魅力を感じ、一人ひとりの興味や関心に合った学習機会を見つけられるようにする。</p> <p><取り組み内容> 市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAV I」を発行する。</p>				
	実施主体	生涯学習センター		取り組みの場	情報誌
	連携先	市役所関連部署 大学 等		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	65施設
	生涯学習NAV Iの配布施設数			目標水準 (2018年度)	100施設
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	65施設				100施設

施策5：スポーツのまちづくり

(5) スポーツ情報発信力の強化

No	5-8				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームや町田市ゆかりのアスリートの活動情報を、多様な手段で広く市民に発信することにより関心と支援の気持ちを高め、ホームタウンチーム・アスリートへの支援につなげる。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を町田市ホームページや広報まちだ、市政情報モニター「まちビジョン」、シティセールス（CS）コーナーに掲載する。 ホームタウンチームの広報誌や PR ポスターを市内各施設・小中学校、掲示板に配布・掲示する。 情報誌「スポまち キッズ!」を Sports まちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行する。 総合体育館情報コーナーの有効活用及び他スポーツ施設の情報コーナーの整備を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内
	連携先	広報課 Sports まちだホームタウン協議会 ホームタウンチーム 公園緑地課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	134件
	ホームページでの アスリート情報発信件数			目標水準 (2018年度)	190件
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	150件	160件	170件	180件	190件

町田市スポーツ推進計画アクションプラン

2014年12月 策定

編集：町田市文化スポーツ振興部スポーツ振興課

〒194-0022

東京都町田市森野2-2-22

Tel 042-724-4036